

# きのくに

コミュニティスクール

VOL.04  
古佐田丘中学校・  
橋本高等学校

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校（コミュニティ・スクール）とそれを支える既存の「きのくに共育コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

平成29年度から3年間で県内全ての公立学校に「きのくにコミュニティスクール」を導入します。県立学校は平成30年度に全て導入しました。

## 古佐田丘中学校・橋本高等学校 中高一貫学校地域連携推進委員会のめざすところ

中高6年間を通してふるさとを愛する地域づくりの担い手としての役割を果たせる人物の育成をめざしています。

中学校3年間は、インプット期。学校の教育課程ではできない学びの場をコミュニティ・スクールで提供し、「地域の方々から学び、地域を知る」ことに重点を置き、地域の課題の存在を生徒自身の身近な問題として捉えられるようにします。

高校の3年間は、アウトプット期。コミュニティ・スクールの仕組みにより、地域に根ざしたボランティア活動を充実させながら、さらに地域の課題に対する地域貢献活動へと広がっていきます。



中高一貫学校地域連携推進委員会での協議の様子



「なつボラ」(野球部)の様子



安全マップづくり視察の様子

## 古佐田丘中学校・橋本高等学校と学校運営協議会

平成30年度より、学校運営協議会として「中高一貫学校地域連携推進委員会」を設置しました。委員は8名で、各委員を地域活動支援部会、学習支援部会、学校評価部会に分かれて活動しています。

### ① 地域活動支援部会

地域活動支援部会では生徒たちが参加するボランティア活動を中心とした地域活動支援を行っています。

#### ①「生徒会ボランティアセンター」

生徒会を基盤として地域の情報収集と、収集した情報の生徒への提供をしています。

#### ②「夏のボランティア」(「なつボラ」)

夏季休業中を中心に行われるボランティア活動です。高校2年生全員が参加し、橋本市内約45の事業所で活動を行っています。セカンドエントリーをして複数回ボランティア活動に参加している生徒もいます。

#### ③「こども食堂」でのボランティア活動

橋本市の3か所にある「こども食堂」では、ボランティア活動として子供の居場所づくりや学習支援、そして遊び相手として高校生が参加しています。

#### ④通学路の安全マップづくり

中高一貫学校地域連携推進委員会から提案があり、高校の生徒会と橋本警察、橋本市役所が連携して通学路に出向き、視察を行っています。カーブミラー、ガードレールの設置と、通学路の安全づくりにもつながりました。

#### ⑤高野山通訳ボランティア

高校の語学部が、高野山を訪れている外国人に通訳ボランティアを行っています。

## ② 学習支援部会

### ①ふるさと学習

中学1年生は「地域の史跡を訪ねる」、中学2・3年生は「高野山町石道体験学習・ふるさと学習発表会」を行い、地域の方々から学びながら地域を知りたいとしています。

### ②社会に向かう学び

高校では、社会に向かう学びとして「人権学習」「交通安全学習」「職業別学習」「消費者・主権者としての学習」を行っています。

### ③PTA主催で土曜講座

中学校では教科書では習わない発展的・実践的な講座として、地域の方を講師に招き、国語・数学・理科を開講しています。

高校では、大学入試改革を受け、英語の発話・会話に慣れ表現方法を身に付ける講座として、オンラインスピーキングトレーニングを今年度よりスタートさせました。

## ③ 学校評価部会

従来の学校評議員会の機能を継続させています。



オンラインスピーキングトレーニングの様子

# きのくに 教育めぐり 教育長挨拶

## 今回は 和歌山市教育委員会



和歌山市では「ともに学び ともに支えあい 未来につながる教育」を基本理念に、社会全体で将来の和歌山市を創造できる人を育てる教育をめざしています。平成28年12月に中核市として初めて「家庭教育支援条例」を制定しました。また、地域とともにある学校づくりを推進するため、平成29年度からコミュニティ・スクールを導入し、来年度全ての小・中・義務教育学校に学校運営協議会が設置されます。

現在、2019年度から2023年度までの5年間を計画期間とする「第2次和歌山市教育振興基本計画」の策定に取り組み、子供たちが豊かに学ぶ和歌山市の実現をめざしています。

和歌山市教育委員会 教育長 原 一起

## 新・和歌山市民図書館

図書館がつなぐ「本と人」・「人と人」・「人とまち」-賑わいの拠点

平成31年度、南海和歌山市駅前に市民図書館が移転します。人生を左右するような「本」との出会い、楽しみを共有する「人」との交流を創る図書館です。

閲覧席のほか、ちょっとおしゃべりできるくつろぎのスペース、サイレント学習席、子供のフロアも充実。館内 Wi-Fi も完備。移民資料室や郷土資料のエリアもあります。訪れた人をより豊かにする図書館が誕生します。



新・和歌山市民図書館(イメージ)

## 学習支援サービスの活用

子供たちの家庭学習の充実と自主学習力の育成を目的に、和歌山市立小・中・義務教育学校に学習支援サービスを導入し、活用を進めています。

配付されたIDでインターネット上のサービスに接続し、タブレット等に問題を表示して学習します。採点結果は学習履歴として蓄積され、学校や保護者は学習履歴を閲覧することで子供たちの学習をサポートします。



学習支援サービスを活用する児童たちの様子

## 自主学習ノート『学びのあしあと』の活用

子供たちが家庭で基本的な学習習慣を身に付け、意欲的に学習に取り組めるように、平成29年度に自主学習ノート『学びのあしあと』活用の手引き(小学校版)を作成しました。今年度は中学校版を作成し、9年間を通して自ら課題を追求し、自己実現していく力の育成をめざしています。



『学びのあしあと』活用の手引き



和歌山県教育委員会では、教育のめざす方向性やその時々々の教育課題について、新しい取組や学校・地域の特色ある取組などを紹介するため、テレビ番組「はばたく紀の国～教育は今～」・ラジオ番組「定期便 教育の窓」を制作し、放送しています。また、これまでに放送した番組は和歌山県教育委員会ホームページから視聴できます。※QRコードを読み取ってご視聴いただけます。

はばたく紀の国 ～教育は今～

放送予定

【テレビ和歌山】

9月～2月の第1・3日曜日 午前10:30～10:50



これまでの  
テレビ放送

定期便 教育の窓

放送予定

【WBS和歌山放送】

毎月、第2・4土曜日 午前8:30～9:00

※ラジオ番組は、お持ちのスマートフォン/パソコンのラジオ視聴無料アプリでもご視聴いただけます。



これまでの  
ラジオ放送